

住職の写真日記より【平成31年4月】

4月1日に新元号の発表がありました。私が予想もしていなかった文字が使われました。「平成」の時もそうでしたが、新しい元号というのは最初は慣れないものですね。息子が京都に行き、お寺は大人3人だけの生活がスタートしました、茶の間はとても静かです。



1日 平成から令和に

個人的には「令」という文字は元号としては収まりがあまりよくないなという感想です



2日 坊守、入学式へ

純正の入学式に。何と約9,000人が入学、学部ごとに分かれて4回も開催。



8日 花まつりのプレゼント

秋田県のお寺が監修したレトルト精進カレー。カロリー低めでヘルシー。500円です。



10日 新しいお札

数年後に発行されるようですね。私は新しいお札のデザイン、とても気に入ります。発行が楽しみです。



10日 新型の雪駄です

今までの雪駄での運転は、ホントは×でした、これはかかがあるのでOKだそうです。履き心地もグッド。



13日 仙台の弟が帰省

正月に帰省できなかったので休暇を取って、ばあさん孝行に。お盆も仕事で帰省できないとか。会社員です。



18日 永代経法要3日間

3年ぶりに朝山先生のご法話。ユーモアたっぷりのお話で、時間があっという間に過ぎていきました。



20日 BSの入隊式

お寺のBSのスカウト数が一番多かったのは、平成元年の144名、今年は46名。少子化なんですね。



26日 お寺おやつくらぶ

道新の朝刊に大きく掲載。多くの檀家さんに「新聞みたよ～」と言われました。さらなるご協力をお願いします。

坊守の独り言

平成最後の4月、向かいの「こがね食堂」が解体されました。昭和、平成と変わらない味と店がまえて多くの市民に愛されていた「こがね」。我が家も大変お世話になりました。



↑ 築60年の建物が解体、さら地に

息子は、幼稚園時代から夏の暑い日150円を握りしめ、ランニング姿で「こがね」へ行き、昭和30年代の手動のかき氷機でつくる「かき氷」が大好きでした。また、私が不在の時、晩ご飯は「こがね」へ。

「お母さんいないのかい?」「うん」が合言葉。頼まなくてもご飯はいつも大盛りに、焼肉や豚カツを食べて育ててもらった「こがね」。おじさんの一周忌には息子も呼んで下さって、食事は食堂にて好きなもの頼んで!とラーメン、エビフライを頂き、素敵は時間を共有させてもらいました。

おばさんは千歳を離れました。寂しくなりますが、3回忌はお寺に来られます。これからはお寺が集合場所になることでしょう。令和の始まりにポツリ寂しい独り言でした。